

平成 31 年 3 月 25 日

上越市長 村山 秀幸 様

三和区地域協議会  
会長 松井 孝

### 三和区小学校のあるべき姿に関する意見について

上越市地域自治区の設置に関する条例第 7 条第 1 項に基づき、「三和区小学校のあるべき姿」について自主的に審議した結果、下記のとおり提出します。

#### 記

三和区には現在、里公小学校、上杉小学校、美守小学校の 3 校が配置されていますが、その全ての学校において、今後も少子化による児童数減少が続くと見込まれるとともに、内 1 校については複式学級となっています。

当協議会では、こうした現状を踏まえ、少子化に伴う小学校の問題は将来の三和区の重要な課題になると考え、平成 28 年度から「三和区小学校のあるべき姿」を自主的審議事項として審議することとしました。

審議にあたっては、子どもたちにとって最も望ましい教育環境とは何かを考え、まずは、地域の皆さんに小学校の現状をお示しし、将来の小学校についての考えを地区別、各組織、保護者の皆さんなどと意見を交換しました。その後、その際の意見を基に、主に保護者の皆さんとの意見交換やアンケート調査等を実施してきたところです。

当協議会では、これらの経緯も踏まえ、さらに協議・検討を重ね、町内会長協議会を始め地域住民に対して「三和区内の里公小学校、上杉小学校、美守小学校の 3 校を統合し、区内は 1 小学校とする」という当協議会の協議結果を説明するとともに、全戸配布の「地域協議会だより」を通じて周知を図り、概ね地域の賛同が得られたと判断しました。

つきましては、地域住民の意向を十分配慮した上で、三和区内の子どもたちがより良い教育環境で学べるよう、三和区内の小学校 1 校化を早期に実現していただくよう望みます。